

指定管理者運営評価シート

年度	令和6年度
担当課	観光振興課

1 公の施設

施設名称	佐賀市衛の湯
所在地	佐賀市富士町大字上熊川204番地8
施設概要	地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図るために設置された温泉施設 開館時間 10時～21時 定休日 第3木曜(祝日の場合翌日)

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	有限会社熊の川温泉ちどりの湯	選定方法	非公募
	所在地	佐賀市富士町大字上熊川204番地8	利用料金制	導入
指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日			
施設の運営・維持管理の業務	【運営業務】施設全体の管理業務、入浴施設の管理、物品の販売、食堂の運営、施設の総務・経理業務、集客促進業務、利用料金の徴収業務、熱交換器の操作、入浴施設の水循環システムの操作、日常点検業務(水質検査を含む。)、空調設備の操作、その他機械設備の操作 【維持管理業務】建物内の日常清掃、定期清掃業務、建物内の機械保安警備業務、敷地内の緑化及び樹木の剪定、防除等の管理業務、機械設備等の保守点検業務			

3 施設の利用状況

利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		令和5年度	令和6年度			
① 入館者数	人	55,682	52,910			
②						
③						
④						
⑤						

4 指定管理者の収支状況

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度			
収入	指定管理料	12,870	8,434			
	利用料金収入	23,963	24,936			
	その他	13,349	12,743			
	計	50,182	46,113			
支出	支出	45,140	47,362			
	うち修繕費	1,269	218			
	うち人件費	16,309	19,009			

5 個別評価

- ◎評価基準
- A・・・要求水準を概ね満たしている
 - B・・・要求水準を一部下回っている（改善が必要）
 - C・・・要求水準を大幅に下回っている（相当程度の改善が必要）

	評価項目	評価の視点	評価
1	運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか。 ・利用者が平等に利用できるよう適正な利用許可がなされているか。 	A
2	法令・協定書等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令、協定書等を遵守されているか。 ・労働法規等を遵守した適正な労働環境が確保されているか。 ・提案した事業計画の内容を適切に実施されているか。 	A
3	個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護条例を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理が実施されているか。 	A
4	職員の配置および実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の配置、有資格者等の配置は適切であるか。 ・業務に対する研修等の必要な職員教育が行われているか。 	A
5	連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務全般について、市への適切な報告・連絡等ができているか。 	A
6	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全快適に施設を利用できるよう、建物・設備の保守や修繕、清掃等が適切に実施されているか。 	A
7	安全対策・危機管理対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の警備体制は適切であるか。 ・マニュアルの整備や関係機関との連絡体制の確立など、非常時・緊急時における必要な手立てが講じられているか。 	A
8	経理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経理区分を明確にし、適正な経理処理が実施されているか。 ・収支計画と比較して大きな差異がないか。 ・必要な経費節減の取組が実施されているか。 	B
9	利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス向上のための効果的な取組を実施できているか。 ・利用者ニーズや満足度などを把握する取組ができているか。また、利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか。 ・利用者増加や利用率向上に向けた具体的な取組が実施されているか。 ・広報誌への掲載やチラシの作成など、有効な情報発信・PRの手立てが講じられているか。 	B
10	苦情、トラブル等対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やトラブル等に対し適切かつ迅速な対応が行われているか。 	A

6 総合評価



A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して施設の適切な維持管理が行われた。 ・入館者数については、前年度比95%と減少しており、コロナ禍以前の客数の水準まで回復できていない。 ・シフトの調整や時間短縮等、経費削減のための工夫が見られる。 ・経理については適切な経理区分による管理を徹底し、基本的な収支見込みを実施できるよう改善が必要。 ・ニーズに合った各種イベントの実施や効果的な広報を実施し、収入増に努める必要がある。
---	--